

# 近代日本文化研究 I

科目ナンバリング JLT-101  
必修 2単位

川崎 瑞穂

## 1. 授業の概要(ねらい)

古代から現代まで、日本史上にはさまざまな種類の芸能が登場します。近代には、西洋文化の摂取により多彩な芸能文化が花開きました。本講義では、幕末から明治時代にかけての芸能とその音楽を学びます。近代日本文化を知るだけでなく、私たちをとりまくアニメ・ゲーム・アイドル文化と比較することで、多角的に近代芸能史を捉えます。

## 2. 授業の到達目標

近代日本の芸能とその音楽を学び、現代文化との連続性・非連続性を考えることで、日本文化への理解を深化させることを目標とします。

## 3. 成績評価の方法および基準

期末試験(60%)、小テスト・レポート(20%)、平常点(20%)を合わせて評価します。試験は、ノート等の資料類の持ち込みは禁止です。なお期末試験に代えてレポートを課す場合もあります。

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

プリントを用意します。

### 参考文献

奥中康人 『幕末鼓笛隊―土着化する西洋音楽―』 大阪大学出版会

笠原潔 『黒船来航と音楽』 吉川弘文館

千葉優子 『ドレミを選んだ日本人』 音楽之友社

## 5. 準備学修の内容

さまざまな芸能とその音楽についてできるだけ触れて下さい。学修の中では、つねに私たちをとりまく文化とのつながりを考えるようにしてください。

## 6. その他履修上の注意事項

積極的な態度で出席して下さい。わからないことがあれば質問して下さい。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスー日本芸能史概観ー
- 【第2回】 江戸・明治の西洋音楽受容
- 【第3回】 チャルメラの文化史
- 【第4回】 キリスト教音楽の受容と展開
- 【第5回】 幕末鼓笛隊と民俗芸能
- 【第6回】 ラッパ文化と民俗芸能
- 【第7回】 近代における軍楽
- 【第8回】 軍楽隊による演奏会
- 【第9回】 文明開化の芸能・音楽
- 【第10回】 初期映画の音楽
- 【第11回】 明治の唱歌
- 【第12回】 演歌の成立と展開
- 【第13回】 大衆音楽への展開
- 【第14回】 サブカルチャーの明治観
- 【第15回】 まとめ(試験)